

広島アートプロジェクト 2008

HIROSHIMA ART PROJECT 2008 : Brackish Water Area

総合テーマ

汽水域

二つの流れがせめぎあう

2008年11月1日(土)~16日(日)



<http://www.hiroshima-ap.jpn.org/project/index.cgi/JA/HAP2008>

お問い合わせ :

082-830-1635

080-5617-9134 (担当 : 大橋 実咲)

E-mail : HiroshimaArtProject@gmail.com

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1

ディレクター メッセージ

広島アートプロジェクト2008は、「汽水域」を総合テーマに掲げます。

汽水域とは、川が海に淡水を注ぎ入れている区域、つまり淡水と海水が混じりあう河口域で、山から集められてきた川の流れと、海から押し寄せる潮汐流との二つの流れが共存する場所です。汽水域は我々に比喻を与えます。それは、山と海、ローカルとグローバル、戦争の現実と平和のメッセージなど、二つの流れがぶつかりあう場のメタファーです。独特で多様な生物相を有する汽水域のように、水の都の広島で、このせめぎあう場を現出させることとなるでしょう。

柳 幸典

ディレクター プロフィール

柳 幸典 (やなぎ ゆきのり)

美術家、広島市立大学芸術学部准教授。

近年、産業遺構をアートにより再生するプロジェクトを主たる研究テーマとしている。精錬所跡の産業遺跡の島をアートにより再生する岡山の「犬島アートプロジェクト」に取り組んでおり、10年間の構想を経て2008年4月に第一期の精錬所がオープンした。2007年4月に旧中工場アートプロジェクトを企画・ディレクションし、2008年2月には、ドイツのベルリン市にある旧ベルリン市交通局中央整備工場（BVG）にて国際交流プロジェクト「CAMPベルリン」をディレクション。都市における遊休施設のアートによる有効利用を国を超えて実験し、現在へと至る。テート・ギャラリー、ニューヨーク近代美術館など国内外の多くの美術館に作品がコレクションされ、広島市現代美術館にも代表作が収蔵されている。

開催概要

広島アートプロジェクト2008「汽水域」

会期：2008年11月1日（土）～11月16日（日）
開場時間：午前11時～午後5時（最終入場は30分前まで）
会期中無休（展示場所によっては制限あり）
観覧料：無料

企画1：旧中2

会場：ボートパーク広島（広島市中区南吉島1-1）
広島市中区吉島学区・吉島東学区各所、旧中工場裏（広島市中区南吉島1-4-2）、広島駅南口前愛友市場 きくや商店

企画2：CAMPヒロシマ Contemporary Art Migration Project

会場：旧日本銀行広島支店（広島市中区袋町5-16）

サテライト企画：「CAMPベルリン」アーカイヴ展

会期：2008年11月1日（土）～11月10日（月）
会場：広島市立大学芸術資料館（広島市安佐南区大塚東3-4-1）
開場時間：午前11時～午後5時（最終入場は30分前まで）

主催：広島アートプロジェクト実行委員会

共催：広島市立大学、財団法人広島市ひと・まちネットワーク、広島市吉島公民館、広島ボートパーク株式会社

助成：平成20年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業、財団法人文化・芸術による福武地域振興財団
独立行政法人日本万国博覧会記念機構、財団法人アサヒビール芸術文化財団、財団法人朝日新聞文化財団
社団法人中国建設弘済会

特別協賛：アサヒビール株式会社、株式会社カンサイ、株式会社きなり

協力：アサヒの森環境保全事務所、財団法人ひろしま文化振興財団、広島市中区社会福祉協議会

広島市中区吉島学区社会福祉協議会、広島市中区吉島東学区社会福祉協議会

梨花女子大学校（韓国）、ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学（ドイツ）

リヨン国立高等美術学校（フランス）、エプソン販売株式会社

後援：広島市中区光南四・五丁目町内会、財団法人広島市文化財団

公式ホームページ：<http://www.hiroshima-ap.jp.org>

広島アートプロジェクト2008専用ウェブサイト：<http://www.hiroshima-ap.jp.org/project/index.cgi/JA/HAP2008>

お問い合わせ：Tel 082-830-1635、080-5617-9134（午前10時～午後5時）



企画 1 旧中 2

テーマ 汽水域

会場 ポートパーク広島、広島市中区吉島学区・吉島東学区各所、旧中工場裏、
広島駅南口前愛友市場 きくや商店

企画概要

「旧中2」は、広島市中区吉島地区を展示会場とし、「広島」を地域的な視点から考える展覧会です。2007年4月に開催した「旧中工場アートプロジェクト」の継続企画である本プロジェクトは、「汽水域」をテーマに、地域をアートによって活性化しようとする試みとなります。広島は水の都であり、汽水域に長年の干拓事業で造られてきた都市です。吉島地区はその代表的な地域といえ、埋立地に並ぶ工場地帯、戦前から残る干拓の名残が見られる住宅地、さまざまな地域の顔が時代の経過とともに流動し混在しています。本企画は、遊休施設の創造的有効活用を提案する旧中工場の壁面、そして、かつて貯木場であった吉島のポートパーク広島が主な舞台となり、アートを通して新しい繋がりが生まれる場を提示していきます。

交通案内

旧中2の会場は広島市中区吉島地区の各所に点在しています。
会場への交通案内は開催会場のページをご覧ください。

会期中はインフォメーションセンターや各展示会場にて展示マップの配布や展覧会に関する詳細情報をお知らせします。
詳細情報は、「広島アートプロジェクト2008」専用ウェブサイトでもご覧になれます。

<http://www.hiroshima-ap.jpn.org/project/index.cgi/JA/HAP2008>

(または、「広島アートプロジェクト」で検索して下さい。)

「旧中工場アートプロジェクト」に関する詳細は、広島アートプロジェクト公式ホームページよりご覧になれます。

<http://www.hiroshima-ap.jpn.org/knap/index>

主催：広島アートプロジェクト実行委員会

共催：広島市立大学、財団法人広島市ひと・まちネットワーク、広島市吉島公民館、広島ポートパーク株式会社

助成：平成20年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業、財団法人文化・芸術による福武地域振興財団
財団法人アサヒビール芸術文化財団、財団法人朝日新聞文化財団、社団法人中国建設弘済会

特別協賛：アサヒビール株式会社、株式会社カンサイ、株式会社きなり

協力：アサヒの森環境保全事務所、財団法人ひろしま文化振興財団、広島市中区社会福祉協議会

広島市中区吉島学区社会福祉協議会、広島市中区吉島東学区社会福祉協議会、エプソン販売株式会社

後援：広島市中区光南四・五丁目町内会、財団法人広島市文化財団



企画2 CAMPヒロシマ Contemporary Art Migration Project

テーマ Migration (移住・移動)

会場 旧日本銀行広島支店

企画概要：

「CAMP ヒロシマ Contemporary Art Migration Project」は、広島市中心部の被爆建物、旧日本銀行広島支店を会場とし、ヒロシマを国際的な視点から考える展覧会です。2008年2月にドイツで開催した「CAMP ベルリン」の継続企画である本プロジェクトは、同じく「Migration (移住・移動)」をテーマとし、広島が戦前から有していた海外との関係に注目しながら、その歴史とともに、国際平和文化都市として果たすべき役割をアートによって問いかけます。総合テーマの汽水域による2つの企画のうち、地域企画の旧中2に対して、本展は国際的視点の企画になります。

旧中2特別企画 peace scope

遊休施設の旧中工場をアートセンターとして仮想した巨大模型の展示を行います。ゴミの焼却ピットの大空間が平和をのぞき見るためのスコープ（見る器械）として見立てられています。

交通案内

広島駅から：路面電車1番「広島港」行きに乗り「袋町」（18分）にて下車、電停前すぐ。

広島バスセンターから：鯉城通りを本通り方面へ徒歩10分。

関連企画として「CAMPベルリン」アーカイヴ展も同時開催します。詳細は5ページをご覧ください。

主催：広島アートプロジェクト実行委員会

共催：広島市立大学

助成：独立行政法人日本万国博覧会記念機構

特別協賛：アサヒビール株式会社

協力：梨花女子大学校（韓国）、ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学（ドイツ）、リヨン国立高等美術学校（フランス）

エプソン販売株式会社

サテライト企画 「CAMP ベルリン」 アーカイヴ展

会期：2008年11月1日（土）～11月10日（月）
会場：広島市立大学芸術資料館（広島市安佐南区大塚東3-4-1）
開場時間：午前11時～午後5時（最終入場は30分前まで）
会期中無休 観覧料：無料

今年2月にドイツで開催された「CAMP ベルリン」で展示された作品の一部を再展示します。映像作品、写真、インスタレーションなどに加え、ドキュメンテーションビデオも上映します。

「CAMP ベルリン」に関する詳細は、広島アートプロジェクト公式ホームページよりご覧になれます。
<http://www.hiroshima-ap.jpn.org/campberlin/index>

イベント

1. 巨大野外映像シアター！

会期：11月2日（日）、3日（月）、14日（金）、15日（土）
上映時間：午後6時～午後7時
会場：中工場横緑地帯（広島市中区南吉島1-4-2）
観覧料：無料
旧中工場裏の巨大壁面に投影する吉島と庄原の小学生が描く「未来の海辺の風景と山辺の風景」の絵による巨大映像。われわれは未来を担う子どもたちのメッセージを受け止められるのでしょうか！
京都を中心に活動するユニット Antenna による映像作品「ヤマトピア伝承」「ジャッピー来臨」も同日上映します。
協力：アサヒの森環境保全事務所

2. 汽水トーク&イベント

会場：ボートパーク広島向かい麒麟木材株式会社ビル1階、「居酒屋カフェ 中人（なかんちゅ）」（広島市中区光南5-1-17）
観覧料・参加料：無料
アーティストによる「居酒屋カフェ 中人（なかんちゅ）」にて、会期中国内外のアーティストによるトークとイベントを開催します。

3. マンドリル新曲公開！ヒロシマのスピリット上映

あの「ALI BOM-BA-YE」（邦題・炎のファイター）のマンドリルが広島に捧げる曲、「ヒロシマのスピリット」（作詞・作曲：ドクター・リック・ウィルソン）を映像と共に「居酒屋カフェ 中人（なかんちゅ）」にて公開！

イベントの詳細情報は「広島アートプロジェクト2008」専用ウェブサイトにて随時お知らせします。
<http://www.hiroshima-ap.jpn.org/project/index.cgi/JA/HAP2008>

協力企画

広島アートプロジェクト2008は、同時期に広島で開催されるアートイベントと連携しプロジェクトをより盛り上げていきます。

Hiroshimaアートマネジメントラボラトリー ～まちとアートの幸せな出会い～（実践編・コンサート）

「愛友・駅前×アート・08年秋 広島・Hiroshima…、記憶の光」
会期：2008年11月8日（土） 14:00～15:00 / 17:00～18:00（2回公演）
会場：広島駅南口前市場内ふれあい工房付近
観覧料：無料
現代音楽、現代美術（映像）、コンテンポラリーダンスのコラボレーションによるコンサート
主催：財団法人ひろしま文化振興財団

専用ウェブサイトにてイベントの詳細情報をご覧いただけます。
<http://art-collabo.hp.infoseek.co.jp/Top.html>

開催会場



雁木タクシーで展覧会場へ

会期中、土・日・祝日のみ広島駅前大橋下流側の乗り場と展覧会場となるボートパーク広島を結ぶ雁木タクシー（水上タクシー）が運行します。予約制となっているため下記へお問い合わせ下さい。広島平和記念公園等へ行くルートもお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ・予約】082-230-5537

※ 広島駅南口前愛友市場 きくや商店前、出先インフォメーションの「シャッター・ガイ」にて乗り場への案内もしています。



①中工場裏（広島市中区南吉島 1-4-2）

広島市環境局中工場に隣接する旧ゴミ焼却施設である旧中工場裏の壁面。工場横緑地帯は巨大映像シアターの会場となります。



②ボートパーク広島（広島市中区南吉島 1-1）

かつて貯木場であったボートパーク広島は、マリンレジャーを促進する施設として2007年10月にオープンしました。ギャラリーやレストランも完備したボートパーク広島で地域に開かれた事業を共同で展開していきます。



③ボートパーク広島向かい麒麟木材株式会社ビル一階

（広島市中区光南 5-1-17）「居酒屋カフェ 中人（なかんちゅ）」（中崎 透作品）が地域インフォメーションセンターとなります。

広島市中区吉島学区・吉島東学区各所

新旧の中工場と広島平和記念公園の間に位置する広島市中区吉島地区。ビルのワンフロア、福祉センター、神社などさまざまな場所で企画を展開します。



④広島駅南口前愛友市場 きくや商店前

現在、新球場建設や再開発で注目される広島駅南口前の愛友市場内。
きくや商店前「シャッター・ガイ」(坂口 直也作品)が出先インフォメーション
となります。



⑤旧日本銀行広島支店 (広島市中区袋町 5-16)

長野宇平治設計(1936 年竣工)の被爆建物であり広島市指定重要文化財である旧日本
銀行広島支店は、現在、市民主体の芸術や文化の活動発表の場として多岐にわたり活
用されています。広島アートプロジェクト 2008 の総合インフォメーションセンター
となります。



⑥広島市立大学芸術資料館 (広島市安佐南区大塚東 3-4-1)

広島市立大学に付属する芸術資料館
サテライト企画「CAMP ベルリン」アーカイヴ展会場となります。

広島アートプロジェクト 2008 「汽水城」の作品めぐり

広島アートプロジェクト 2008 の会場は、広島駅南口前愛友市場、広島市中心部に位置する旧日本銀行広島支店、そして広島市環
境局中工場と広島平和記念公園の間に位置する広島市中区吉島地区へと広範囲に広がっています。会期中は各エリアのインフォ
メーションセンターで、展覧会の展示マップを配布し、各会場への移動方法やイベントの詳細情報をお知らせします。

お問い合わせ：082-830-1635、080-5617-9134 (午前 10 時～午後 5 時)

インフォメーションセンターへの交通案内



総合インフォメーション：旧日本銀行広島支店 (広島市中区袋町 5-16)

広島駅から：路面電車 1 番「広島港」行きに乗り「袋町」(18 分)にて下車、電停前すぐ。

広島バスセンターから：鯉城通りを本通り方面へ徒歩 10 分。



地域インフォメーション：キリン木材株式会社ビル一階「居酒屋カフェ 中人(なかんちゅ)」(広島市中区光南 5-1-17)

広島駅南口 (3 番のりば)・八丁堀・本通りなどから広島バス (赤バス) 24 系統「吉島営業所」行きに乗り、「広島バス本社前」

(25 分)にて下車、光南 5 丁目交差点を東方向へ徒歩 3 分、つきあたりを南方向すぐ。

※ 同じ系統の「吉島病院」行きに乗らないように注意して下さい。



出先インフォメーション：広島駅南口前愛友市場 きくや商店前「シャッター・ガイ」

広島駅南口前、東の一角に位置する市場内。

お問い合わせ：080-5622-3124 (午前 10 時～午後 5 時)

アーティスト一覧 (出身国/居住国)

旧中 2 (23 組)

相澤 和広/Aizawa Kazuhiro
 Antenna/アンテナ
 浅井 裕介/Asai Yusuke
 福田 恵/Fukuda Megumi
 福永 敦/Fukunaga Atsushi
 開発 好明/Kaihatsu Yoshiaki
 北川 貴好/Kitagawa Takayoshi
 荒神 明香/Koujin Haruka
 黒田 大祐/Kuroda Daisuke
 丸橋 光生/Marubashi Mitsuo
 中村 敬/Nakamura Kei
 中崎 透/Nakazaki Toru
 西野 正将/Nishino Masanobu
 小原 一洋/Obara Kazuhiro
 David Polzin/ダヴィッド・ポルツィン (ドイツ)
 坂口 直也/Sakaguchi Naoya
 先崎 哲進 TETUSIN/Senzaki Takayuki TETUSIN
 シンフン製作所+三上 賢治/Shitfun Factory+Mikami Kenji
 SUIKO/スイコ
 高須 健市/Takasu Kenichi
 田中 英行/Tanaka Hideyuki
 Matthias Wermke/マティアス・ヴェルムケ (ドイツ)
 祐源 紘史/Yugen Hirofumi
 他、藤 浩志監修によるワークショップ作品あり

特別企画 peace scope
 柳 幸典 企画室/peace scope project team

CAMP ヒロシマ (25 組)

Charlotte Bonjour/シャルロット・ボンジュール (スイス/ドイツ)
 Chang Hwa-Jin/チャン・ファジン (韓国)
 Paul Darius/パウル・ダリウス (ドイツ)
 Mareike Drobny/マライケ・ドロブニ (ドイツ)
 藤原 勇輝/Fujiwara Yuki
 古堅 太郎/Furukata Taro (日本/ドイツ)
 Naomi Hennig/ナオミ・ヘニッヒ (ドイツ/スコットランド)
 Jeong Seon-Ju/ジョン・ソンジュ (韓国)
 Kang Ai-Ran/カン・エラン (韓国)
 Kim Hong-Shik/キム・ホンシク (韓国)
 Sebastien Leseigneur/セバスチャン・ルセニユール (フランス)
 増山 士郎/Masuyama Shiro (日本/ドイツ)
 的場 智美/Matoba Satomi
 大田 祐子/Ohta Yuko
 Michael Otto/ミハエル・オットー (ドイツ)
 Irene Pätzug+Erik Alblas/
 イレーネ・ベツーク (ドイツ) +エリック・アルブラス (オランダ)
 David Polzin/ダヴィッド・ポルツィン (ドイツ)
 Damir Radovic/ダミール・ラドヴィック (ボスニア・ヘルツェゴビナ/フランス)
 鹿田 義彦/Shikada Yoshihiko
 下西 進/Shimonishi Susumu
 タノタイガ/Tanotaiga
 Axel Töpfer/アクセル・テップファー (ドイツ/オーストリア)
 Eric Van Hove/エリック・ファン・ホーフェ (アルジェリア/ベルギー)
 Matthias Wermke+Mischa Leinkauf/
 マティアス・ヴェルムケ+ミーシャ・ラインカウフ (ドイツ)
 Yu Mi-Yeon/ユ・ミニョン (韓国)

アーティスト資料



《泥絵・昨日と明日の半分》(旧赤坂小学校) 2008
6種類の水、土、マスキングテープ、ペン (写真 加藤健)

浅井 裕介 / Asai Yusuke

2007年の旧中工場アートプロジェクトでは「ゴミがアートになる！ 超高品質なホコリ」展、「わたしの庭とみんなの庭」展に出品し、吉島にある公園、公民館などさまざまな場所で作品を展開した浅井裕介。マスキングテープを貼った上にマジックで植物の絵を描く「マスキングプラント」シリーズで知られている作家。近年では世界中何処にでもある土という素材を使いさらにアクティブに絵を描ける場所を拡大している。この度は太田川沿いの土や泥、既存の粘土などを用い、汽水域の代表的植物を描きます。

設置場所：ボートパーク広島



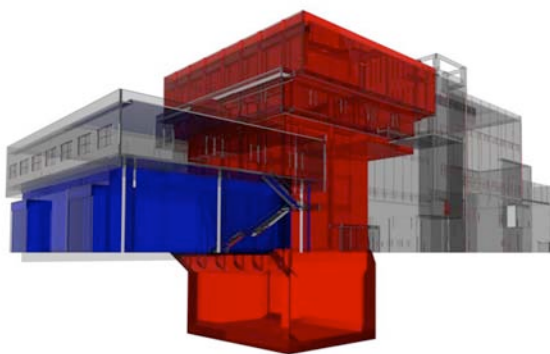
シフン製作所+三上 賢治 /

Shitfun Factory+Mikami Kenji

シフン製作所は、今回のポスターやチラシにも使われているレトロな劇画調の絵と、ユニークでスカトロロジーな造形物を得意とするユニットです。旧中工場が稼働していた時代に立っていた煙突の跡地を利用して、その場所に巨大な劇画調の看板を設置します。この看板は、本来の目的を終えた施設である旧中工場の有効利用の地域に向けたメッセージを、ユーモラスな絵で表現したものとなるでしょう。また今回、三上賢治をユニットに加えユニークな造形物を作ります。

設置場所：旧中工場（裏壁面）

柳 幸典 企画室 / peace scope project team



旧中工場のプラットホームと深さ40メートルの焼却ピットの8分の1の巨大模型が、旧日本銀行広島支店の吹き抜けのロビーに展示されます。人がのぞき込める大きなピットの内部空間には映像が投影されます。ゴミを焼却してきて、現在ではその役目を終えた旧中工場のピット空間が、平和のメッセージをのぞき込むスコープ（見る器械）として生まれ変わります。また2007年4月に開催し、全国的に話題を博した「ゴミがアートになる！ 超高品質なホコリ」展の会場となったプラットホーム部分の模型空間には、極小の展覧会が企画され、来場者は仮想の「旧中工場アートセンター」を体験することができます。

設置場所：旧日本銀行広島支店



Antenna / アンテナ

アートユニット Antenna が創造した架空の近未来の日本のテーマパーク「ヤマトピア」の物語から派生したさまざまな造形物の中から、マスコットキャラクターのジャッピーを祀る神輿を展示します。プロジェクト最終日には、その神輿で吉島の町を練り歩きます。

設置場所：広島市吉島福祉センター



北川 貴好 / Kitagawa Takayoshi

前回の旧中工場アートプロジェクトで空き地に庭園を出現させた北川貴好。今回、空き缶を組み合わせせて浮島や棧橋を作り、ボートパーク広島の海上に大規模なインスタレーションを展開します。空き缶の注ぎ口から噴水する構造物は、液体を密閉している缶の中の世界を無数の空間に繋げていくかのように感じさせます。

設置場所：ボートパーク広島



中崎 透 / Nakazaki Toru

「居酒屋カフェ 中人（なかんちゅ）」

ボートパーク近くのビルの1階がアーティストによるカフェになります。個人・団体・サークル・企業などからライトボックスの看板を100円で受注し、看板のデザインは中崎個人の作品として制作されます。その空間のなかで、カフェを運営し、アーティストと観客、地域とアートの出会いを演出します。

協力：アサヒの森環境保全事務所

設置場所：キリン木材株式会社ビル1階



David Polzin / ダヴィッド・ポルツィン (ドイツ)

ダヴィッド・ポルツィンは、展覧会場に巨大な構築物を建造し、自らの聖域を作ります。会期中は、その空間の入口に自ら駐在し、来場者と対話するパフォーマンスを行います。出入国の審査を思わせるその行為は、本展覧会のテーマである「Migration」について考えさせます。

設置場所：旧日本銀行広島支店



Matthias Wermke + Mischa Leinkauf /

マティアス・ヴェルムケ + ミーシャ・ラインカウフ (ドイツ)

ベルリンで開催された展覧会「CAMP ベルリン」では、公共交通機関等の車両のフロントガラスを勝手に清掃する映像作品《Thanks anyway》を展示したマティアス・ヴェルムケ + ミーシャ・ラインカウフ。今回彼らは、自作のハンドカーに搭乗し、深夜の地下鉄路線を疾走する映像作品《Zwischenzeit (合間)》を発表します。

設置場所：旧日本銀行広島支店



Yu Mi-Yeon / ユ・ミニョン (韓国)

ユ・ミニョンは、「美しい蓮」を意味する Mi-Yeon (美蓮) という自分の名前に着目し、花をモチーフとした作品を制作しています。今回、彼女は日本を起源とする花であり、故郷の釜山市の市の花である「椿」に焦点を当てます。その美しさゆえに、文化的、政治的な力を持つに至った椿を用い、華やかなインタレーション作品を展開します。

設置場所：旧日本銀行広島支店